

令和2年度（2020年度）宇賀っ子学力向上計画

PLAN

重点課題及び解決策の策定

- 「宇賀型課題対応能力」の伸長による**基幹学力の定着**
「宇賀型課題対応能力」
- ①他者を意識したコミュニケーション能力（読解力・傾聴力を含む）
- ②主体的・能動的に学ぶ力
- ③**思考力・判断力・表現力（重点化）**
- ④自己効力感
- ICT機器の利活用
 - ・複式授業の効果的なしかけ
 - ・学習課題・共有情報の見える化
- 家庭学習習慣の確立
 - ・「学年×10分+α」の確保
 - ・自主学習の積極的な取組と習慣化を促す授業づくり
- 読書習慣の形成
 - ・「読解」と「表現」の一体化

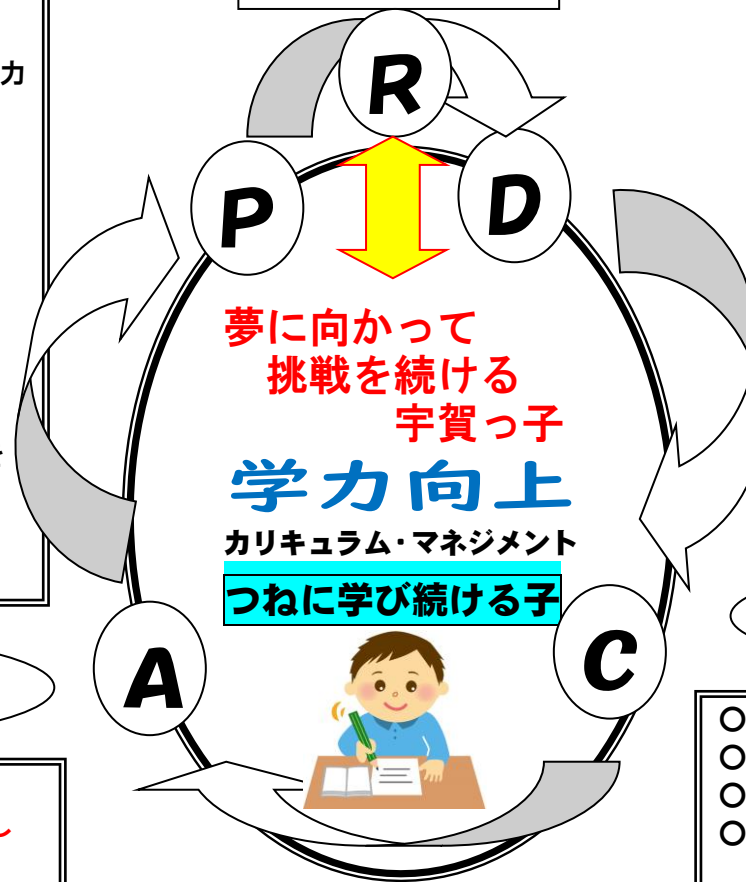
ACTION

学力評価の分析と改善

- 課題の明確化と改善策の検討
 - ・**学力向上を支援するしかけの見直し**
 - ・ICT機器の利活用研修
 - ・ガイド学習とリーダー学習の振り返り

○日常的な具体的見取りと評価

research



DO

重点課題への全校的な取組

- 「宇賀型課題対応能力」の伸長を図るための複式授業のしかけづくり
- 思考ツール**を生かした授業づくり
 - ・ロジカルシンキング
 - ・クリティカルシンキング
- ICT機器の利活用による楽しく分かる授業づくり
 - ・思考の場としてのICT機器
 - ・児童相互が共有する確かな学び
- 「宇賀っ子学びの基本」改訂と実施
 - ・保護者との連携による家庭学習
 - ・継続的な自主学習への取組
- 読書通帳、読み聞かせにおける読書推進活動の継続的な取組

CHECK

多面的客観的な学力評価

- 全国学力・学習状況調査等の校内分析
- 学力定着状況確認問題の校内分析
- 宇賀型学習意欲調査**による児童の実態把握
- 学習指導者による日常的な見取りと適切なフィードバック
- 提案授業における指導助言等の共有化